

第六十七回
帝國議會
貴族院

酒造組合法中改正法律案特別委員會議事速記録第二號

付託議案(追加)

昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル
爲公債發行ニ關スル法律案

昭和七年法律第一號中改正法律案

昭和十年三月十三日(水曜日)午後一時三
十九分開會

○委員長(子爵大河内輝耕君) 是ヨリ開會

イタシマス、昭和十年度一般會計歳出ノ財
源ニ充ツル爲メ公債發行ニ關スル法律案、
昭和七年法律第一號中改正法律案此二案ヲ
議題ニ供シマス、政府委員ノ説明ヲ求メマ
ス

○政府委員(男爵矢吹省三君) 昭和十年度

一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲メ公債發行
ニ關スル法律案、竝ニ昭和七年法律第一號
中改正法律案ニ付キ大體ノ御説明ヲ致シマ
ス、先ヅ昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ
充ツル爲メ公債發行ニ關スル法律案ニ付テ
申上ゲマスガ、御承知ノ通り昭和十年度一
般會計ノ歳出豫算ハ總額二十一億九千三百
餘萬圓デアリマシテ、右ニ對シマシテハ普
通財源十四億四千三百七十餘萬圓、及ビ既
ニ成立シテ居リマスル震災善後公債法、道路
公債法ニ依ル公債、竝ニ滿洲事件ニ關スル

經費支辨ノ爲メ發行スル公債金ノ合計一億
八千三百七十餘萬圓ノ外、尙ホ五億六千五
百八十餘萬圓ノ公債ヲ發行スルコトヲ必要
ト致シマスノデ、新ニ起債ノ權能ヲ得ルコ
トガ必要デアリマス、尙ホ昭和十年度歳出
豫算ノ中若干ノ金額ハ翌年度ニ繰越サルル
結果ニナルグラウト存ゼラレマスルガ、其
繰越額ノ財源ハ必シモ昭和十年度内ニ起債
スルコトヲ必要ト致シマセヌノデ、翌年度
ニ於テ募債スルコトガ適當デアルト認メマ
ス、右ノ爲メ本法律案ヲ提出シタ次第デア
リマス、次ニ昭和七年法律第一號中改正法
律案ニ付テ御説明イタシマス、滿洲事件ニ
關スル經費支辨ノ爲ニハ、昭和七年法律第
一號ニ依リ昭和九年度迄ノ所要額ニ對シテ
六億五千十萬圓ノ限度ニ於テ公債ヲ發行シ
得ルコトニナツテ居ルノデアリマス、昭和十
年度滿洲事件費ノ總額ハ一億八千四百三十
餘萬圓デアリマシテ、右ノ中朝鮮總督府及
關東局兩特別會計ノ分ハ全部普通財源ヲ以
テ支辨スルノデアリマスガ、一般會計ノ分
ハ滿洲國防費分擔金受入等ニ相當スル金
額一千十餘萬圓ヲ差引キマシテ、一億七千
四十餘萬圓ハ今日ノ財政情況竝ニ本經費ノ

性質ニ鑑ミマシテ從來ノ如ク之ヲ公債財源
ニ依ルコトト致シマシタ、之ガ爲メ昭和七
年法律第一號中ノ發行限度ヲ一億七千五十
萬圓増加シ、八億二千六十萬圓ニ改ムルノ
必要ガアリマスノデ、本改正案ヲ提出シタ
次第デアリマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 次ニ此前

殘ツテ居リマシタ酒造組合法中改正法律案、
是ニ付キマシテ御質疑ノオアリニナル方ハ
此際御願イタシマス

○子爵大岡忠綱君 此組合法第六條ニ「酒

造組合ハ組合相互ニ氣脈ヲ通シ其ノ目的ヲ
達スル爲道府縣ヲ一區域トスル酒造組合聯
合會ヲ設置スルコトヲ得」ト云フ規定ガゴザ
イマスガ、此聯合會ニ對シマシテ、更ニ進
デ此組合ノ爲ニ是等ノ指導調査研究ニ付テ
ノ總括的施設ヲスルト云フノ必要ハ又起ツ
來ルカト思フノデスケレドモ、是ニ付テ何
カ御考ハゴザイマスマイカ

○政府委員(大矢半次郎君) 御答イタシマ
ス、此酒造組合法ノ第六條ニアリマス通り、
聯合會ハ酒造組合ノ組合相互ノ氣脈ヲ通ズ
ル連絡ヲ圖ル目的ヲ以テ設置スルコトヲ得
ルコトニナツテ居リマスルノデ、大體今度此

組合ニ斯ウ云フ事業ノ内容ヲ明ニシマシテ
ヤルコトガ出來ルヤウニシタヤウナ施設ハ
今迄ノ所デハ酒造組合聯合會トシテハソレ
程ノ必要ガナイデヤナイカト思ハレル、ソ
レデ今度ハ酒造組合聯合會及酒造組合中央
會ト云フモノモアルノデアリマス、ソチヲ
ノ方面迄ハ此内容ヲ明ニ規定スルコトハ見
合セタノデアリマス

○子爵大岡忠綱君 サウシマス、内容ハ

明示シナイケレドモ、適當ナ何カ施設ニ付
テハ、之ヲ行ツテモ宜イト云フ風ニ解シテ宜
シウゴザイマス

○政府委員(大矢半次郎君) 左様デゴザイ

マス

○子爵大岡忠綱君 ソレカラ簡單ナ事ナン
デスケレドモ、此法案ノ一番終リノ行ニ「組
合ハ前項ノ事業ニ併セ組合ニ對シ」云々ト
出テ居リマスケレドモ、此處ニ謂フ「ニ併
セ」ト云フ文字ハ、「事業ノ外」ト云フト同
一意義デスカ、或ハ何カ外ニ意義ガゴザイ
マスガ、從來ノ法案ニハ大概「何々外」ト云
フヤウナ文字ガ使ツタノガ多イヤウデアリ
マスガ、チヨット御尋イタシマス

○政府委員(大矢半次郎君) 此「併セ」ト云

フ字句ヲ用キマシタノハ、組合ガ此一號ニ號ニ掲ゲタヤウナ共同施設ヲセズニ、唯貸付ノミヲ單獨ニヤルト云フコトヲ認メナイ、一號ニ號ニ舉ゲタヤウナ共同施設ヲヤルノニ併セテ貸付ヲヤル場合ニ其貸付ヲ認メヤウ、斯ウ云フ趣旨デアリマス

○子爵大岡忠綱君 サウシマスト此一二ノ中ノ一ツノ共同施設ヲ行ハナケレバ組合ニ對シテソノ必要ナ資金ノ貸付ヲシナイ、其中ノドレカ一ツノ施設ヲ行ツタ場合デナケレバ出來ナイト解シテ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 實際ノ問題ト致シマシテハ、酒造組合ハ此一號ニ號ニ掲ゲテ居ル事業ノ何レカハ大抵ヤツテ居ルト存ズル次第ゴザイマス、從テ現在アル組合ハ、實情ト致シマシテハ此貸付ハヤリ得ルト云フコトニナルノデアリマスガ、法文ノ建前ト致シマシテハ、組合ガ此一號ニ號ニ掲グル事業ヲ何モセズ、唯貸付ノミヲヤルト云フヤウナコトハソレヲ許サナイ、斯ウ云フ趣旨デアリマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 他ニ御質問ノ御方ハゴザイマセヌデスカ、別ニ御質問ゴザイマセヌケレバ討論ニ移リタイト存ジマス、宜シウゴザイマスカ

○山本米三君 私ハ原案ニ賛成イタシマスカ
○委員長(子爵大河内輝耕君) ソレデハ本案酒造組合法中改正法律案ノ採決ヲ致シマスガ御異議ハゴザイマセヌデスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○委員長(子爵大河内輝耕君) 別ニ原案通り御異議ナイモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○委員長(子爵大河内輝耕君) ソレデハ酒造組合法中改正法律案ハ是デ可決イタシマシタ、次ニ登録稅法中改正法律案、之ヲ問題ニ供シマス、御質問ノ御有リニナル方ハ此際御願イタシマス

○男爵高崎弓彦君 政府委員ニ御尋ネシマスガ、此包括移轉ト合併ト、包括移轉ノ場合ニ合併ト其意味ハ同ジダカラ、同ジニ取扱ツテ呉レト云フノデスケレドモ、其稅ノ差ハドノ位ニナルモノデゴザイマスカ、包括移轉ト合併ト……

○政府委員(男爵矢吹省三君) 今ノ御質問ノ趣意ハ、此度ノ法案ノ如ク登録稅ヲ改正イタシマセヌデ、現行ノ儘トシテ包括移轉ノ場合ト合併ノ場合ト、其登録稅ノ金額ノ上ニ於テドノ位ナ差ガ起ルカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマスカ

○男爵高崎弓彦君 左様デゴザイマス

○政府委員(男爵矢吹省三君) ソレハ稅率ノ上ニ於テ非常ナ差ガアルノデゴザイマシテ、合併ノ場合ハ登録稅法ノ中、特例ヲ設ケテ登録稅ヲ安クシテ居ッテ、合併以外ノ所ハ普通ノ稅率ニ依ルコトトナツテ居リマス、包括移轉ノ場合ハ從ツテ普通ノ稅率ニ依ルト云フコトニナリマス爲ニ、非常ニ率ガ高イノデアリマシテ、其率ヲ申上ゲマスト、合併ノ場合ハ不動産ニ付テ申セバ千分ノ三ノ稅率、ソレヲ包括移轉ノ場合ハ千分ノ三十三デアリマス、尙ホ船舶ニ付テ申セバ、合併ノ場合ハ千分ノ三デアリマスガ、包括移轉ノ場合ハ千分ノ二十三ト云フコトニナツテ居リマス、非常ナ重イ登録稅ヲ包括移轉ノ場合ニ負擔スルト云フコトニナリマスカラ、其點ガ實際ノ上ニ於テ非常ニ不便ガアルカラ、此改正案ガ衆議院ニ提出サレタモノデアリマス、デ昨モ日申上ゲマシタヤウニ、此改正ノ提案ノ理由ハ政府ハ尤モト思ツテ居リマス、スカル改正ノ行ハレマスルコトヲ政府モ希望スル所デアリマス

○子爵大岡忠綱君 チョットソレニ關聯シテ伺ヒタイノデスケレドモ、今次官カラ御伺シヒマシタ通り所有權ノ上ニ、不動産ニ於テ十分ノ一ニ稅ガ減ルト云フコトニナリマスケレ

ドモ、是ハ大體登録稅ノ收入ニハ餘リ影響ハシナイト云フヤウナ政府委員ノ御答辯ガ衆議院ノ方デモ爲サレテ居リマスケレドモ、是ハ實際上餘リ斯ウ云フ保險會社ノ包括移轉ナドト云フ場合モサウ起キナイシ、稀ナ例デモアルシ、一方カラ言ッテ又斯ウ云フヤウナ安イ稅率ヲ設ケタ方ガ、弱體ノ保險會社ヲ合同シテ鞏固ナ基礎ヲ築ク上カラモ、政策的ニモ大變宜イト云フヤウナ考カラ、極メテ適當ナ改正ダト云フヤウナ御意嚮モゴザイマスケレドモ、先キ申上ゲマシタ現在稅額ニ於テハ十分ノ一位ニ減ルト云フ點ハ、サウ云フ例ハ非常ニ少イシ、財政上ノ影響ガ少イト云フ風ニ解シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(男爵矢吹省三君) 仰セノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、餘リ歲入ノ上ニ於テサウ變化ガ見ナイダラウト云フコトヲ豫想シテ居リマスルコトハ、只今仰セノ如ク包括移轉ノ如キコトハサウ年々必ズアルト云フコトハアリマセヌド、之ヲ豫想シテ豫算ノ上ニ於テ餘リ見積リラシテ居ル譯デハナイノデアリマス、從テ此度ノヤウナ稅率ノ改正ガアリマシテモ豫算ニハサシタル響ガナイノデアリマス、尙ホ又スカル改正案ニ依リマシテ、此度ノ法案ニ依リマスル

ヤウニ稅率ヲ輕クスルコトニ依ッテ包括移轉ヲ容易ナラシムト云フコトハ、弱體保險會社ノ合併ヲ容易ナラシメテ、生命保險會社ノ鞏固ヲ圖ル上ニ於テ貢獻スルモノト存ジマス、此點大岡子爵ノ御意見ノ通りデアリマス、尙ホ先程高崎男爵ノ御質問ノ場合ニ御答ヘ申上ゲマスノニ、金額ニドノ位ノ差ガ起ルカト云フコトヲ御答ヘ漏レヲ致シマシタノデ、其點ヲ附加ヘテ此機會ニ御答ヘ申上ゲヤウト思ヒマス、昭和五年、七年、八年ノ例ガアリマス、昭和五年ニ於テ包括移轉ニ依ル取得財産ノ金額ハ二千四百八萬五千圓ゴザイマス、其中不動産ガ二百九十三萬六千圓アリマス、之ニ對スル現行稅率ニ依ル登録稅ハ九萬六千八百八十八圓デアリマス、之ヲ此度ノ法案ノ如ク改正イタシマス、改正稅率ニ依ル登録稅ハ八千八百八圓トナリマスノデ、差引減額ガ八萬八千八百圓ト相成リマス、非常ニ此登録稅ノ輕減ガ行ハレルノデアリマス、尙ホ七年ニモ包括移轉ノ例ガゴザイマスノデ、七年ヲ申上ゲマス、七年ノ場合ハ包括移轉ニ依ル取得財産ガ四百四十二萬九千圓、其中不動産ガ僅カ一萬三千圓デアリマスガ、現行稅率ニ依ル登録稅ガ四百二十九圓、改正稅率ニ依ル登録稅ハ三十九圓、差引三百九十

圓ノ減額デアリマス、尙ホ八年ノ昭和八年ニ於キマシテ包括移轉ノ取得財産ガ四千七百八萬八千圓ゴザイマス、中不動産ガ六百三十七萬八千圓、之ニ對スル現行稅率ニ依ル登録稅ハ二十一萬四百七十四圓、改正稅率ニ依ル登録稅ハ一萬九千三百三十四圓、差引十九萬一千三百四十圓ノ輕減ト相成ルノデアリマス、先程ノ答辯ノ補足ヲシテ置キマス

○男爵高崎弓彦君　チヨット伺ヒマスガ、一番初メニ仰シヤッタノハ何年デスカ

○政府委員(男爵矢吹省三君)　昭和五年デス……尙ホ六年ト九年ノコトヲ申上ゲマセヌデシタケレドモ、其年ニハ包括移轉ガゴザイマセヌノデ、實例ガナカッタノデゴザイマス、隨テ先程申上ゲマセヌデシタ

○委員長(子爵大河内輝耕君)　別ニ御質問ハゴザイマセヌノデスカ……ソレデハ御質問ガゴザイマセヌケレバ、討論ニ移リタイト存ジマス

○野村德七君　本法案ノ改正ハ政府委員ノ説明ノ中ニモアリマス通り、弱體保險會社ノ合併ヲ促進サスコトニ餘程適切ナ法案デアリマシテ、此法案ノ改正ニ依リマシテ、思ヒマスノニ保險業態ノ基礎鞏固ヲ加ヘルコトハ相當大キナモノガアルコトヲ確信イ

タシマス、極メテ適切ナ法案ノ改正ノ趣旨デアルコトヲ信ジマシテ、原案ニ賛成イタシマス

○山本米三君　私モ此法案ハ法ノ不備ヲ補フ所ノモノト信ジマシテ、本案ヲ贊成イタシマス者デアリマス

○委員長(子爵大河内輝耕君)　ソレデハ別ニ御意見ゴザイマセヌヤウデゴザイマスカラ採決ニ移リマス、別ニ是ニ付キマシテ御異存ゴザイマセヌデスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵大河内輝耕君)　デハ別ニ御

異議ナイト認メマス、是デ登録稅法中改正

法律案ハ可決定イタシマシタ、次ハ昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、是ニ付キマシテ御質疑ヲ願ヒマス

○野村德七君　政府委員ニ御尋ネシマス

ガ、昭和九年度ノ新規公債ノ發行殘額ト云フモノハ、四億七千萬圓餘リアルヤウデアリマスガ、モウ昭和九年度ト申シマシテモ本月ヲ以テ終リマスノデスカ、此發行殘額ニシテ年度内ニ發行サレル金額ハ凡ソドノ位ノ御豫算ニナッテ居リマスカ

○政府委員(青木一男君)　昭和九年度ノ新規公債發行豫定額ノ中發行未済額ハ、只今

野村サンノ御話ノ通り、四億七千餘萬圓ゴ

ザイマス、是ハ當初ノ發行豫定額デアリマスノデ、年度末迄ニハ國庫ニ於ケル歳入歳出ノ現狀カラ致シマシテ、此内眞ニ必要ナル額ヲ見込ミマシテ實際發行ヲ了スルノデ

ゴザイマスデ、從來ノ例カラ言ヒマシテ此内若干額ハ歳出ノ不用額ニ屬スル分或ハ自然增收等ノ見込マレマスル關係上、幾分減少スルコトトハ考ヘテ居リマスガ、今日ノ所マダ數字ヲ以テドノ位打切ニ致シテ宜シ

イカト云フコトハ御説明イタス迄ニ達シテ居リマセヌ

○野村德七君　其若干額ト云フモノハ、要スルニ大シタ金額デナクシテ四億七千餘萬圓ノ大部分ハ勿論發行サルベキモノト考ヘテ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(青木一男君)　勿論此金額ノ大部分ハ發行サレルコトト考ヘテ居リマス

○山本米三君　資料ヲ頂戴イタシマシテ、チヨット其中御伺ヒシタイノデスカ、内國債ノ既ニ期限到來イタシマシタモノノ額、及ビ之ヲ借替ヘラレマスル所ノ利子ハドウ云フ風ナコトニ御計畫ニナッテ居ルノデゴザイマセウカ

○政府委員(青木一男君)　今日迄ノ所、政府ノ方針ト致シマシテハ、公債ノ借替ニ付

キマシテハ期限ノ到來イタシタ分ヲ、ソレダケ宛毎年度ニ於テ償還シテ行ク、而シテ今日迄ノ實際ノヤリ方ト致シマシテ、大部分ハ借替ノ公債ヲ發行シテ償還イタシテ居リマス、極ク例外トシテ現金償還ヲ致シタ例ハゴザイマスガ、大部分ハ借替公債ノ發行ニ依ッテ期限ノ到來セル分ヲ償還シテ行ク、斯ウ云フ方針ヲ採ッテ居リマス

○山本米三君 其利率ハドウ云フ風ナコトニナッテ居リマスデセウカ、新タノ公債ハ……

○政府委員(青木一男君) 借替ノ爲メ發行スル公債ニ付キマシテモ、大體ニ於キマシテ其時ニ發行スル新規ノ公債ト、步調ヲ揃ヘテ發行シテ行ク外ハナイト考ヘテ居リマス、唯形ガ或ハ此借替ノ分ニ付テハ公募……今日新規ノ分ニ付テ全部日本銀行引受デヤッテ居ルノデアリマスルガ、從來ノ例ニ於キマシテ借替ノ部分ハ或ハ公募、斯ウ云フ形ヲ採ルコトガアラウカト思ヒマスノデ、サウ云フ場合ニハ必シモ日本銀行引受ノモノト全然同ジカドウカト云フコトハ分リマセヌガ、併シサウ云フ形ガ同ジデアルナラバ、利廻リ其他ノ條件ハ新規ノ分ト同ジニヤル外ハナイト考ヘテ居リマス

○野村徳七君 此兩三年度ヲ見マスルト、

毎年公債ノ新規發行額ガ八億乃至十億ノ程度ノヤウデアリマスガ、昭和九年度ノ新規公債發行殘額ガ三月ノ中旬ニ入りマシテ尙ホ四億七千萬圓、約半額ヲ未募集ノ儘殘シテ置クト云フコトハ、非常ニ新規公債發行ノ手順ノ上カラ言ヒマシテモ、經過ノ上カラ言ヒマシテモ又之ガ支拂ノ方面カラ言ヒマシテモ、非常ニ一方ニ偏シテ居ル、資金ヲ得ル公債發行ガ遅レテ居レバ、其年度ニ支拂フベキ支拂金額ガ非常ニ年度末ニ偏シテ居ルト云フコトハ、之ヲ見テモ推測シ得ルコトデアル、是ハ一般經濟界並ニ財界ニ與ヘマスル影響ハ、政府ノ財政運用ノ結果ト致シマシテ、非常ニ大キナ影響ヲ現ニ與ヘツツアルヤウデアリマス、チョット一例ヲ申シマスレバ、政府ノ支拂ガ假ニ二十二億アルモノデアリマスレバ、毎月約二億圓弱ノモノガ支拂ッテ行ケマスレバ、政府ノ財政運用ガ財界、經濟界ニ與ヘマスル影響ハ極メテ平均シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトデナクシテ、ソレガ或月ハ殆ド皆無ニ等シク、三箇月モ溜ッテ一遍ニ多クノ支拂ガアルト云フコトデアリマスレバ、第一金融市場ヲ刺戟シマスコトガ非常ニ大キイ、或ル時期ニハ非常ニ金融ガ緩漫デ金ノ處分ニ苦シムヤウナ事態ヲ現出シ、又資金需用ガアルニ

拘ラズ、政府ノ支拂ガ何箇月カ極メテ少イト云フ場合ニ、市場ハ頻リニ逼迫ヲ告ゲルト云フヤウナコトハ、過去ニ於テ屢、アルコトデアリマス、偶、茲ニ公債ノ未發行額ガ四億七千萬圓モ年度末ニ切迫シテアルト云フコトヲ見マシテ切實ニ其コトヲ感ズルノデアリマスガ、之ニ對シマシテ唯大藏省ノ方針トシテハ成ルベク公債ノ發行ヲ遅ラスコトハ、利息支拂ノ負擔ノ上カラ國庫ノ負擔ヲ減少スルモノデアアル、又支拂ヲ成ルベク延バシテ置クコトハ冗費ノ節約ニモナルト云フヤウナ御考ニ依ッテ、勢ヒ斯ウ云フ結果ヲ生ズルモノデアリマスマイカ、斯ウ云フ點ニ付テハモット此公債發行ノ上ニ現ハレマスル運用ノ手加減ト云フモノニ付テ、御考ノアルベキモノデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、是ハ或ハ大藏大臣ニ御尋ネセヌケレバナラヌ質問デアルカ知レマセヌガ、御答辯ヲ得マスレバ結構デアリマス

○政府委員(青木一男君) 只今ノ野村サンノ御話ハ全ク事務上ノ問題デアリマスノデ私カラ御答イタシマス、只今御尋ノ如キ誤解ガ世間ノ一部ニアルコトヲ能ク存ジテ居リマス、只今御質問ガゴザイマシタノデ、此機會ニ其一部或ハ誤解セラレテ居ルト存ズル點ヲ御説明申上ゲテ置キタイト思ヒマ

ス、公債ノ發行ガ年度末ニ大分偏シテ居ル、斯ウ云フ見方ハ、是ハ御尤カト考ヘテ居リマス、成程半分近クノモノガ年度末ヘ來テ發行サレルト云フコトハ、如何ニモ公債ノ發行ガ均分的ニ行ハレナイト云フ嫌ヒハアルノデゴザイマス、併ナガラ此公債ノ發行ノ遅レテ居リマスルト云フノハ國庫ノ經理上ニ於キマシテ、マダソレ迄ノ必要ガナイト云フコトガ何ト申シマシテモ一番大キナ原因デゴザイマス、而シテ年度途中ニ於キマシテ國庫ノ支拂ノ上ニ現金ガ要ルト云フ場合ニハ、政府ト致シマシテハ此新規公債發行豫定額ノ中、發行ヲ實行スルカ或ハ都合ニ依テハ大藏省證券ヲ出シテ一時ノ金繰リヲ付ケルカ、此二途何レカラ撰ブノデゴザイマス、而シテ本年度ニ於キマシテハ一般會計ノ支拂ノ爲ノ大藏省證券ノ發行ト云フコトハ殆ド實行イタシマセヌノデ、サウ云フ意味ニ於テ國庫金ノ支拂ノ必要ノアル場合ニハ公債ノ發行ヲシテ來タト、斯ウ云フ結論ニナルノデゴザイマス、唯茲ニ御承知置ヲ願ヒタイト思フノハ預金部資金トノ關係デゴザイマス、預金部資金ハハ一般會計歳出歳入ト關係ナキ資金デゴザイマシマス、國庫金ノ内容ヲ爲ス點ニ於テハ一般會計ノ歳入金ト同様ニ使ヒ得ルノデゴザイマ

ス、從テ假リニ一般會計所屬ノ現金ガ不足シテ居リマシテモ、預金部ノ所屬ノ現金ガアリマスル場合ニハソレヲ使ッテ行クト、斯ウ云フヤリ方ニナッテ居リマス、是ハ國庫一體ノ原則カラ、從來ノ慣例トシテサウ云フ致方ヲシテ居リマス、從テ或ハ只今ノ御尋ノ如キコトモ、此預金部ニ於テ今日約二億ト云フヤリナ多額ノ現金ヲ持ッテ居リマスルノデ、一般會計ガ支拂ハザル場合ニ於テハ、公債デモ發行シテ現金ヲ調達シナケレバナラナイ場合ニモ其預金部ノ金ヲ流用イタシテ居リマスル爲ニ公債ノ發行ヲ必要トシナイ、斯ウ云フ結果ニ今日ナッテ居ルノデゴザイマス、尙ホ此公債ノ發行ニ付キマシテハ大體ニ於テ國庫ノ支拂上必要ナル場合ニ公債ヲ發行スルノデゴザイマスルガ、今日ハ御承知ノ通り新規公債ハ一應日本銀行ヲシテ引受ケシメ、サウシテ金融市場ノ情勢其他ニ依リマシテ圓滑ニソレヲ市場ニ消化シテ行クト云フノガ大眼目デゴザイマスルノデ、大體ニ於テハ國庫ノ支拂ト云フコトガ其發行ノ一番大キナ原因ニハナリマスガ、併セテ市場ニ於ケル公債ノ賣行ト云フコトモ見テ参リマスルノデ、場合ニ依リマシテハ或ハ其時直ニ國庫ノ支拂上必要ナキ場合ニ於キマシテモ、

公債ノ發行ト云フコトヲ考ヘル積リデゴザイマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ此前ノ臨時議會ニ於キマシテハ、昨年七月ニ於ケル公債ノ發行ガ早過ギタト云フ非難スラ蒙ッタヤウナ次第デゴザイマス、ソレデ御尋ノ趣旨ハ斯ウ云フ風ニ公債ノ發行ヲ遅ラセテ居ル爲ニ國庫金ノ支拂ガ遅レルノデハナイカ、或ハ又國庫金ノ支拂ガ非常ニ不平均ナノデハナイカ、ソレガ爲ニ金融市場、又延イテハ一般經濟界ニ面白クナイ影響ヲ與ヘヤセスカト云フ、斯ウ云フ御心配ノヤウデゴザイマスルガ、私共カラ見マスレバ毛頭サウ云フコトハナイト思ヒマス、寧ロ原因ト結果ガ逆ニナッテ居ルヤウニ考ヘマスルノデ、國庫金ノ支拂ノ必要ガアレバ何時デモ公債ヲ發行スルノデアル、今日發行未済ニナッテ居ルノハ國庫ノ經理上必要ガナイカラ遅レテ居ルノダト、斯ウ申シテ差支ヘナイノデゴザイマス、從來此國庫ノ支出ニ付キマシテハ是ハモウ大體ニ於テ法令契約上其他支拂金ガ自ラ決ッテ來ルノデゴザイマス、國庫ガ今金ノ都合ガ惡イカラ其支拂ヲ待ッテ吳レトカ、或ハ今其公債ヲ發行スルノハ支拂ノ時期ガ惡イカラ待ッテ吳レト云フヤウナコトハ未ダ曾テ一錢一厘ト雖モサウ云フ要求ヲ致シタコトハゴザイマセヌ、

唯國庫ノ支拂ノ時期ヲモット均分的ニヤッテハドウカト云フヤウナ問題デアリマスレバ、是ハ制度トシテ一ツノ攻究スベキ問題カト思ヒマス、ソレデ例ヘバ公債ノ利拂ニ於キマシテ相當多額ノ國庫金ガ出ルノデゴザイマス、サウ云フ場合ニ我國ニ於テハ御承知ノ通り、此利子ヲ四期ニ分割シテ拂フト云フコトハ隨分國債事務ノ上カラ申シマスト厄介ナコトデアリマスガ、是等ハドチラカト言ヘバ先程野村サンノ御趣旨ノ如ク、成ルベクマア國庫金ノ支拂ヲ平均的ニスルト云フコトノ趣旨ニ適スル施設ノ一ツデハナイカト考ヘテ居リマス、其他例ヘバ月給ノ支拂ニシテモマア成ルベク餘リ偏ラナイヤウニト云フヤウナコトニ付テ若干考慮シ得ル餘地ハアラウカト思ヒマスガ、併シ是ハマア毎月ノコトデゴザイマスルカラ、其點ノ改正ト云フヤウナコトハ大シタ意味ハナイカト思ヒマス、大體ニ於キマシテ此公債ノ發行ヲ遅ラセテソレニ依ッテ利子ノ輕減ヲ圖ルトカ、其他國庫ノ都合ニ依ッテ國庫金ノ支拂ヲ幾分デモ遅ラセルト云フヤウナコトハ、是ハモウ全然ゴザイマセヌノデ、此點ハ此機會ニ實情ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

要求ニ應ジテ支拂ヲ特ニ遲延セラレ、又ハサウ云フコトノ爲ニ公債ノ發行ヲ特ニ遅ラセラレルト云フヤウナコトノナイコトハ、御説明ニ依リマシテ能ク分リマシタガ、各省ニ於テ其豫算ヲ執行サレル上ニ於テ其支拂期ヲ民間經濟界ノ都合ヲ少シモ考慮セズシテ、……少シモデナクシテ餘リ考慮セズシテ、年度末ニ一遍ニ支拂ヲ溜メテ置クト云フヤウナ結果ガ、勢ヒ國庫ニ斯ウ云フ結果ヲ與ヘルモノデアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、サウ云フ點ハドウ御考ヘナリ、ドウ見テ居ラレマスカ、又サウ云フ弊害ヲ認メラレテ、ソレニ對シテ大藏省トシテハ御考慮ニナッタコトガアリマスカドウデアリマスカ

○政府委員(青木一男君) 國庫ノ支拂ノ中、此法令上ノ義務トシテ支出イタシマスル分ニ付テハ御話ノ如キ問題ハ生ジナイト思ヒマス、問題ハ此契約ニ依ッテ支拂ハレルヤウナ場合ガソレニ該當スルコトト思ヒマスガ、是ハ若干年度末ニ重ナルト云フ傾向ハ私共モアラウト思ヒマス、ソレハ例ヘバ或ル品物ガ買ヒ得ルカドウカ、買ヒタイト思ヒマシテモ其年度内ニ於テ餘裕ガナケレバ買ヘナイト云フヤウナ事情モアリマスルノデ、年度末ニ於テ其費目ノ餘裕ガア

ルカドウカト云フヤウナコトヲ一應見ル
必要ガアル爲ニ、物品ノ購入等ヲ年度末ニ
持ッテ來ルト云フヤウナ傾向ハ是ハアルヤ
ウデゴザイマス、併シ是ハ此會計經理ノ確
實ヲ期スル爲ニ豫メ早ク買ッテシマッデハ、
非常ニ年度内ニ困ルコトガ生ズルト云フヤ
ウナ懸念カラ起ルノデゴザイマシテ、是ハ
必シモドウモ惡イトハ申シ難イ事情モゴザ
イマス、其他各省ニ於キマシテハ此歳出權
ヲ與ヘラレマシタ費目ニ付テハ小切手ヲマ
ア切レバ宜シイト云フコトニナッテ居リマ
スルノデ、國庫ノ都合トカサウ云フコトニ
依ッテ支拂ガ遅レルコトハ是ハモウ毛頭ゴ
ザイマセヌ、唯物品購入トカ工事ノ請負等
ニ付テ、マア成ルベク此政府ノ支出ガ平均
的ニ行ハレルヤウニナレバ宜シイト云フコ
トハ、是ハ私共モ抽象的ニハ同感デゴザイ
マスガ、何分ニモ是ハサウ云フ各省ノ契約
等ヲ綜合的ニ見マセヌト云フト、ナカ／＼
全體トシテ平均スルカドウカト云フコトハ
分ラナイノデ、是ハ技術的ニ非常ニ困難ナ
問題デゴザイマス、私共モ將來一ツ研究ス
ベキ問題トハ考ヘマスガ、果シテ理想的ニ
實現スルカドウカト云フコトニ付テハ、只
今ノ所確信ハゴザイマセヌ

○野村德七君 能ク大藏省ノ見テ居ラレマ

スコトハ諒承イタシマシタガ、今日ノヤウ
ニ非常時財政デ、特ニ陸海軍ノ支拂ガ非常
ニ巨額ニ達シテ居リマスル際ニハ、只今御
話ノヤウナ契約ニ依ル支拂、請負ニ依ル支
拂ト云フヤウナモノガ特ニ多額ヲ示シテ居
ルノデアリマス、私共ハ先刻カラ申シマス
ヤウニ、支拂ガ年度末ニ偏シテ居ルト云フ
傾向ヲ認メルノデアリマス、大藏省デモソ
レヲ御認ニナッテ居レバ、何トカ此非常時財
政、特ニ陸海軍ノ契約ニ依ル支拂ノ如キモ
ノガ年末若クハ年度末ト云フヤウナ時ニ、
非常ニ偏シテ支拂ハレル、ソレガ而モ相當
金融市場ナリ、財界トカ、一般經濟界ニモ
影響ヲ與ヘテ居ルト云フコトニ對シテ、特
ニ御考慮ヲ御願イタシテ置ク次第デゴザイ
マス、モウ一ツ伺ヒタイノハ、先程山本委
員カラ御尋デアリマシタ公債借換ノコトデ
アリマスガ、今日モ本會議デ森議員カラ五
分利公債ノ借換ノ意思アリヤ否ヤト云フ質
問ヲ大藏大臣ニナサレタノデアリマスガ、
大藏大臣ハ公債借換ノ如キ事業ハ容易ナモ
ノデナイ、借換ト云フモノニ對シテハ、現
金償還ノ用意ヲシテコソヤリ得ルモノデア
ツテ、國庫ニハ左様ナ餘裕ハ今日持タナイ、
絶對不可能デアルト云フヤウナ御説明ヲ
承ツタノデアリマス、此コトハ今日迄ニモ屢

同様ノ御説明ヲ大藏大臣カラ我々ハ承ッテ
居ルノデアリマススケレドモ、質問者ノ意思ハ、
恐ラク全部ノ五分利公債ヲ一時ニ借換ヘテ
シマヘトハ要求セスノデアラウト思フノデ
アリマス、恐ラク今日高利ノモノガ政府ノ
債券ト言ハズ、民間ノ債券ト言ハズ、漸次
低利ニ借換ヘテ居ルノデアルカラシテ、相
當ナ技術ヲ加ヘレバ高利ノ利息ノ負擔ハ、
サウ云フ現金償還ノヤウナマズイ結果ヲ來
タサシメズシテ……又今後赤字公債ヲ相當
毎年度巨額ニ發行セナケレバナラヌノハ、
其發行手續ニモ大ナル影響ヲ與ヘズシテ五
分利公債ヲ低利公債ニ整理シテ行ク方法モ
アリハスマイカ、サウ云フコトヲ御考慮ニ
ナッテ然ルベキデハナイカト云フコトヲ、恐
ラク質問者ハ質問セラレタノデアリマセウ
シ、現ニ今日民間ニモ其聲ハ幾ラ大藏大臣
ガ説明セラレマシテモ、後カラ後カラ矢張
リ高利公債ヲ低利ニ借換ヘヨト云フ聲ガ出
テ來ルコトヲ見マスルト、アノ大藏大臣ノ
答辯デハ満足シテ居ラヌト云フコトガ言ヒ
得ルト思フノデアリマス、ソレハ三十
數億ノ据置金契約ノ五分利公債ヲ、一
時ニ四分利公債ニ借換ヘヨト云フコトハ、
如何ニモソコニ過去ニ於テ「イギリス」ガ
採ッタヤウナ新規公債、新規債券ノ發行ヲ全

部停止シテ、更ニ低金利政策ヲ採ッテ、技術
的ニモ相當ナ借換可能ノヤウナ情勢ヲ馴致
シテ、サウシテ而モ尙ホ莫大ナル現金ヲ
用意シテ一舉ニ借換ヘタコトモアリマセウ
ガ、アノヤウナコトハ恐ラク現在國庫ニ餘
裕ノ無イ今日、又赤字公債ヲ連續發行シテ
行カネバナラヌ此財政狀態ニ於キマシテハ、
望ミ得ラレヌコトハ勿論デアラウト思ヒマ
スガ、現在ノ五分利公債數十億ヲ、或ハ五
億トカ、十億トカ、ソレヲ一時日本銀行ノ
引受狀態ニ於テサウシテデモ後ニ之ヲ市場
ニ消化スルト云フヤウナ方策ヲ探ルト致シ
マシテモ、何等カノ考慮ヲサレテハドウカ
ト云フヤウナコトヲ恐ラク考ヘテ質問ヲ致
シテ居ル人モ少ナカラヌヤウニ考ヘテ居ル
ノデアリマスガ、思ヒマスノニ政府ニ於カ
レテモ必ずヤ高利公債ノ借換ト云フコトニ
對シマシテハ、十分ナ御研究ヲ積マレテ居
ルコトト存ジマスガ、此際吾々ニ何等カノ
御説明ヲ承ルコトガ出來レバ大變仕合せニ
思ヒマス

○政府委員(青木一男君) 御質問ノ趣旨ハ、

高利債借換ト云、デモ全部ヲ一時ニスルノ
デナク、一部の借換ヲ漸次行ッテハドウカ
ト云フ御趣旨ノヤウデゴザイマス、問題ハ
先程申上ゲマシタ通り、十年度ニ於キマシ

テモ此償還期限ノ到來シテ、法律上借換ヲ要スルモノハ、外貨債ヲ純分比價デ計算イタシマシテ、尙ホ二億七千三百餘萬圓アルヤウナ狀況デアリマス、此處理ハ勿論是ハ借換ト云フコトニナルノデゴザイマスガ、ソレ以上法律上ノ義務ナキ分ラ任意ニ一部借換ヘルカドウカト云フコトニ歸著スルト思ヒマス、ソレデ大體ノ方針ハ大臣ヨリ御説明ガアツタ通りデアリマスガ、今日公債政策ノ一番ノ重點ハ何處ニ置イテ居ルカト申シマスレバ、新規公債ノ償還ト云フコトデゴザイマス、是ガマア今日我國ノ金融界經濟界ノ最大ノ關心事デハナイカ、又政府ノ財政政策遂行上如何ニナルカドウカト云フコトモ其點ニ懸ッテ居ルノデハナイカト考ヘテ居リマス、ソレデ先程モ問題ニナリマシタノデアリマスガ、九年度ノ公債ニ致シマシテモ、尙ホ半分近クノ發行未済額ガ殘ッテ居ルト云フコトハ、見方ニ依リマスレバ、其新規ノ公債ノ消化ガナカク、容易ナモノデナイト云フコトヲ證明シテ居ルノデハナイカト考ヘマス、ソレデ若シ他ノ何等カノ施設ノ爲ニ、此新規公債ノ消化ト云フコトガ頓挫イタシマシテ、結局日本銀行ノ背負込ニ終ルト云フコトニナリマシテハ、是ハ實ニ一大事デゴザイマス、ソレデ高利債ノ借換ト云フコトハ、他ニモ理由ガアルカモ知

レマセヌガ、主トシテ政府ノ財政ノ負擔ヲ輕クスルト云フ點ニ其主點ガアルト思ヒマス、其見地カラ致シマスレバ、出來ルダケ多クノ借換ヲ實行シナケレバ目的ニ副ハナイト云フコトニナリマス、少シ位ノ借換デハ、國家財政ノ負擔ヲ輕クスルト云フヤウナ見地カラシテノ目的ハソレダケ輕微ナモノニナル、此借換ニ依リ國庫ノ利子負擔ノ輕減ト云フコトハ、色ミノ計算モアリマセウガ、大體私共ノ概算ニ依リマスルト云フト、五分利附ト四分半利附ノ据置期間ノ經過シタル公債ヲ全部四分利ニ借換ヘタト致シマシテ、初年度ニ於テハ寧ロ財政上ノ負擔ヲ増加スルノデアリマシテ、次年度以降ニ於キマシテモ、此全部ノ五分利及ビ四分半利附ヲ借換ヘマシテモ、一般會計ニ於キマシテハ約二千萬圓ノ國費ノ節約ニ止マルノデゴザイマス、サウ云フ次第デアリマスルカラ、若シ其一部ヲ借換ヘタト致シマスレバ、ソレニ應ジテ此節約額ト云フモノガ、減ッテ參リマス、勿論二千萬圓ト雖モ、是ハ恆久財源トナルノデアリマスカラ、尊重スベキモノデハアリマス、併ナガラ世間デ此問題ニ付テノ財政的價值ト云フモノニ付テ、或ハ見方ヲ異ニシ

テ居ル人モアリハシナイカト云フコトヲ考ヘテ一言スル次第デアリマス、サウ云フ次第デアリマシテ、若シ其一部トスレバ、ソレニ應ジテ其負擔額ハ減ッテ參リ、財政的ノ效果ト云フモノハソレダケ少イ、唯實行上ノ難易ト云フ點カラ考ヘテ見マス、借換ヲ實行スル金額ガ少ナケレバ、ソレダケ技術的ニモヤサシイ、是ハ疑ナイノデアリマス、併ナガラドノ位ノ借換ヲ實行スルカト云フコト、其前提ニ依ッテ問題ハ違ッテ來ルト思ヒマスガ、先程申上ゲマシタヤウニ、今日現ニ發行シテ居ル新規公債、及ビ十年度以降ニ於テ發行ヲ餘儀ナクサレマスル新規公債、是等ノ消化ト云フコトガ、今日中樂觀出來ナイト云フ實情ニ若シアリト致シマスレバ、其上ニ更ニ借換公債トシテ負擔ヲ過重スルト云フコトハ、何ト言ッテモ公債政策ノ一ツノ重荷ダト考ヘマス、尙ホ其際考ヘナケレバナラスコトハ、一部ノ借換ヲ實行スルト致シマス、ドノ分ヲ借換ヘルコトニナルノデアルカ、期限ノ到來スル分ニ付テハ是ハモウ公然分ッテ居リマスカラ、チャント時期ニ依ッテ相場ニソレガ現ハレテ居リマス、サウデナク、期限ノ來ナイモノヲ一部借換ヘルトナルト、ソレハ如何ナル選定ニ依ッテ其一部ヲ選リ出スノカ、是

ガマア御承知ノ通り公債ノ市價ト云フヤウナモノニ付テ非常ナル不安ノ種ニナルコトハ事實デアリマス、サウ云フヤウナ諸種ノ利害得失ヲ綜合シテ考ヘテ見マシテ、私共事務的見地カラマダ一部ノ借換モ著手スベキ時期デハナイノデハナイカ、從テ大臣ガマダ借換ノ時期デナイト云フコトハ、必ズシモ全部ノ借換ノ時期デナイト云フ意味ノミデナク、一部ノ借換ト雖モマダ其時期デナイト云フ意味ニ申サレタコトト考ヘテ居ル次第デアリマス

○野村德七君 政府ノ御考ヲ段々伺ヒマスト云フト、新規公債ノ消化ト云フコトハ餘程重大ナ仕事デアル爲ニ、現在尙ホ赤字公債ガドノ程度デ終ルベキカサヘマダ見定メノ付カナイ場合ニ、到底新規發行ノ額ヲ増加スルヤウナ結果ヲ來タス借換ノヤウナ仕事ニハ著手シ得ナイモノデアル、又假令借換情勢ナリ、一般ノ市場ノ情勢ナリ、金融市場ノ狀況ナリガ多少ノ新規發行ニ、多少デナシニ、新規發行容易ノ情勢ヲ來タシ、更ニ其際部分的ナ借換ヲヤッテモ可能デアルト云フヤウナ場合ニ於テデモ、其部分借換ト云フコトニ對シテモ果シテドノ分カラ借換ヘタラ宜イカ、ドノ部分ノ公債ヲ借換ヘルベキカデサヘモ、技術的ニ即チ事務的

ニハ困難デアルカラシテ、高利公債ノ借換ハ容易ナモノデナイ、斯ウ云フ風ニ伺フノデアリマス、サウ致シマス、此五分利ナリ、四分半利ナリノ公債ガ整理サレルト云フ時期ハ、赤字公債ガ消滅スルカ、何等カノ方法デ財政ノ「バランス」ガ合ッテ、新規公債ノ市場發行ノ跡ヲ絶ッテ頃ヲ待ツヨリ外ニ方法ハナイト云フ風ニ直感サレマスガ、御尋ガ重複スルカモ知レマセスガ、更ニモウ一遍御答ヲ願ヒマス

○政府委員(青木一男君) 私ノ申上ゲタ意味ハ、今日ノ情勢ニ於キマシテ、現ニ九年度ニ於テ決定サレ、又十年度ニ於テ決定サ

レントスル如キ新規公債ノ消化ガ今日ノ實情ニ於テ容易ナラザル問題デアルト云フ前提ノ下ニ、サウ云フ政策ノ遂行ニ障害アルコトハ中ニ手ガ著ケニクイト云フ意味デ申上ゲタノデアリマス、只今ノ御話ノ如ク赤字公債ガ跡ヲ絶ツニ至ラザレバ、此公債ノ借換ハ問題ニナラナイカト云フ御尋デゴザイマスト云フト、サウキチントシタハッキリシタ限界ハ、是ハ少シ行過ギタ見方ニナルノデハナイカト思ヒマス、是ハ併シ將來ノ實勢ト申シマス、或ハ新規公債ノ消化ト云フコトガサウ困難デナクナッテ参リマシテ、サウ云フ所作ノ上ニモ餘力ガ出タト云フヤウナ

場合ニハ自ラ考方モ變ッテ來ルノデハナイカト考ヘマス、併シ然ラバドノ位赤字公債ガ減レバ、サウ云フコトニナルノカト云フ問題ニナリマスト云フト、是ハ其時ノ金融狀態其他諸般ノ關係カラ考ヘナケレバナラヌノデアリマスカラ、今カラ抽象的ニ申上ゲ兼ネマシガ、必シモ全然赤字ト云フモノガ無クナッテシマッタト云フ時期マデ、此問題ヲ延バシテ置クト云フ風ニモ考ヘテ居リマセス、是ハ中ニ困難ナ問題ト思ヒマスガ、簡單ニ其點ダケカラ決スベキ問題デハナイト考ヘマス

○野村德七君 恐ラク是ハムヅカシイコトデアリマシテ、將來ノ場合ヲ豫想シテ論斷

シマスコトハ、勿論不可能ノコトデアリマスガ、唯現狀カラ押シテ公債借換政策ト云フモノヲ論ジマス、勢ヒ只今ノヤウナコトヲ考ヘザルヲ得ナイヤウニナルノデアリマスケレドモ、モウ一ツノ行方トシマシテ、今日マデノ辿ッテ來マシタ經過、否寧ロ御執リニナッテ居ル政策、低金利政策、此政策ガ殆ド過去一年以來何ト申シマス、停頓シテ居ルト云フヤウナ狀態ニ置カレテアリマス、此政策ヲ嘗テ一昨年ノ豫算總會、又分科會ニ於テ大藏大臣ガ最モ強イ意思ヲ表示サレマシタヤウナ低金利政策ヲ續行サレテ行キマスレバ、是モ或ル見方カモ知レマセ

スガ、アノ強イ大藏大臣ノ低金利政策強行トデモ申シマス、政策ヲ御執リニナレバ市場金利ト云フモノハ必ズ相當ナ低金利狀態ヲ現出シ得ベキモノト思フノデアル、例ヘテ見マスレバ更ニ郵便貯金ノ利子ヲ下ゲル、サウシテ一時ハ預金部資金ニ多少ノ動搖モシマセウガ、資金ガ銀行預金ニ移動シテ、ソレニ促ガサレテ銀行ノ預金利子ノ引下ゲヲセザルヲ得ナイ、サウシテ一般ノ發行物ニ對スル金利ノ「レート」ガ變ッテ來ルト云フヤウナコトハ、結局マダ日本銀行ノ庫中ニ在ル四分利公債ニ拂底ヲ告ゲシメテ、政府ノ新規發行公債ヲ三分五厘ニ導クト云フヤウナコトニナリ、或ハ更ニ三分ニ導クト云フヤウナコトニナッテ、結局其間ニ相當ナ考慮ト技術ヲ用キラレマスレバ、現在デコソ新規發行ノ四分利公債ノ消化ニ、只今伺ヒマシタヤウナ御考モアリマセウケレドモ、ソレ等ガ低金利政策強行ノ爲ニスツカリ改マッテ、サウシテ高利公債ノ整理ガ實行シ得ルト云フヤウナコトニ到達シ得ルモノト考ヘラレルノデアリマスガ、ソレ等ニ付テドウ云フ御考ヲ只今持ッテ居ラレマス、更ニ伺ヒタイ

○政府委員(青木一男君) 金利政策ガ是以

上更ニ低金利ノ勢ヒヲ加ヘテ行キマスル場合ニハ、今日發行シテ居リマスルヤウナ公債ノ消化ガ促進スルト云フ傾向ヲ起スコトハ、是ハ事實ダラウト思ヒマス、從ヒマシテ金利政策ニ付キマシテハ、只今ノ大藏大臣御就任以來、低金利政策ト云フ大キナ方針ヲ御立テニナッテ今日マデ參ッテ居ルノデアリマスガ、此低金利政策ト云フモノハ實情ニ副ッテ、基礎ノシカリシタモノデナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、種々ノ情勢、總テソレダケノ準備ガ出來ナイノニ非常ニ先走ル、間モナクソレガ逆轉シテシマフト云フヤウナコトデアッテハ、百弊アッテ一利ナキモノト思ヒマス、詰リ低金利政策ノ實ヲ結ブニハ、線香花火式ノモノデ終ッテハナラスト思フノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、今日以上ニ更ニ低金利ト云フモノガ何處マデモ進ンデ行クベキモノデア

ルカドウカ、ソレダケノ眞ノ情勢ニ在ルノカドウカト云フコトニ付テハ、是ハ我國ノ經濟界ノ現狀觀察トシテ、篤ト研究ヲ要スル問題ダト思ヒマス、勿論比較的ノ希望トシテハ、金利ハ成ルベク安イ方ガ結構ダト考ヘテ居リマス、併ナガラ今日ノ低金利ガ曾テ郵便貯金利子ノ引下ゲト云フヤウナコトニ關聯シテ居ッタコトハ事實デアリマスルケレドモ、サウカト申シマシテ、何處マ

デモ政府ノ指導の方針ニ依テ此金利ト云フ

モノガ左右サルベキモノデモナイト思ヒマ

ス、是ハ經濟界、金融界ノ實情ガ其氣運

ニ向イテ來ルト云フコトガ、何處マデモ

先決問題デハナイカト考ヘテ居リマス、

殊ニ我國ノ現狀ト致シマシテハ、此低金利

ノ普遍化ト云フコトガ其必要ヲ最モ痛感サ

レテ居ルヤウナ情勢デゴザイマシテ、サウ

云フ點ニ付テハ出來ルダケ協力シ、政府

ニ於テモ主力ヲ注イデ居ルヤウナ次第デ

アリマスガ、公債政策ト云フヤウナ政府ノ施

設ニ依リマシテ其基本ノ金融狀勢ヲ左右シ

得ルモノカドウカ、又左右シテ行クノガ宜

シイカドウカト云フコトニ付テハハ餘程

ゴザイマス

○政府委員(青木一男君) 十年度ノ新規公

債發行豫定額ハ總額八億二千六百十五萬一

千餘圓デゴザイマシテ、此中、一般會計ノ

方ハ七億四千九百六十五萬一千餘圓、其内

譯ハ道路公債五百五十七萬四千餘圓、震災

善後公債七百四十五萬四千餘圓、滿洲事件

公債一億七千七百七十五萬四千餘圓、歲入補填

公債五億六千五百八十六萬七千餘圓デゴザ

イマス、特別會計ニ於キマシテハ朝鮮特別

會計ノ分二千四百萬圓、鐵道特別會計ノ分

三千八百萬圓、通信特別會計ニ於キマシテ

一千四百五十萬圓デゴザイマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) ソレデマダ

ハ大變ムヅカシイ問題デアリマスガ、今日

迄ノ實績等カラ考ヘテ見マシテ、日本銀行

ニ於テ一旦引受ケマシタ公債ガ結局ニ於テ

消化サレルト申シマスルノハ、其資力ハ金

融機關、殊ニ銀行ニアルコトハ是ハ御承知

ノ通りデゴザイマス、ソレデ銀行ノ公債買

入資力ト致シマシテハ何ト申シマシテモ此

預金ノ趨勢ト云フコトガ決定的要素ナル

モノト思ヒマス、ソレデ十年度ニ於ケル預

金ノ動キガドウ云フ風ニナルモノカト云フ

コトモ一應檢討シテ見マシタ、又貸出方面

ニ付キマシテモ是ハ若シ貸出ガ從來ノ如ク

減ルト云フヤウナ傾向ニアリマスルト云フ

コトハハ預金ノ増ニ等シキ資源ヲ造ル譯

デ、先ヅ此位ナ公債ハ消化ガ出來ルモノデ

アル、斯ウ云フ風ニ見込ヲ立テタ次第デゴザ

イマシテ、數字のニソレヲ立證スルト云フ

程具體的ノ研究ヲ茲ニ申上ゲル迄ニハ至ッ

テ居リマセヌデゴザイマス、次ニ預金部ト

云フモノハ是ハ銀行ニ亞イデ公債ノ大口ノ

買手デゴザイマシテ、今日迄モ數年間平均

一億五千萬以上ノ公債ヲ持ッテ居リマス、預

金部ノ公債募集ニ付キマシテハ是亦郵便貯

金ノ増減其他預金部資金ノ新規貸出シ、或

ハ回收、斯ウ云フヤウナコトヲ相互的ニ見

込ヲ立テル外ハナイノデゴザイマシテ、十

年度ニ付キマシテハ實ハ預金部ニ付テモマ

ダ其全體ノ計畫ハ立ッテ居リマセヌノデゴ

ザイマス、併ナガラ此點ハ預金部トモ打合

セマシテ大體ニ於テ今迄ノ年度ノ買入金額

ト大差ナキ程度ノ公債ハ買フモノト斯ウ云

フ風ニ見込シテ居ル次第デゴザイマス、其

他運用資金ヲ持ッテ居リマス會計、或ハ其他

ノ銀行以外ノ金融機關、或ハ證券會社ト云

フヤウナ方面ニ於ケル買入高ト云フモノモ、

過去ノ統計上ハ若干ノ數字ガ上ッテ參リマ

スノデ、サウ云フコトモ概數トシテハ一應

見込ムコトガ出來ルヤウニ考ヘルノデアリ

マス、サウ云フヤウナ各方面ノ資力ヲ綜合

シテ先程申上ゲマシタヤウナ、先ヅ大體ニ

○委員長(子爵大河内輝耕君) 速記ヲ始メ

テ下サイ、私一ツ政府委員ニ伺ヒタイノデ

スガ、來年度ノ赤字公債發行額ハ全部デド

ノ位ノ御見込ニナリマスガ、大體デ宜シウ

(速記中止)

○政府委員(青木一男君) 今回提案サレマ

シタ追加豫算ニ依ッテ只今ノ數字ハ若干増

加スルコトニナリマス、只今申上ゲマシタ

八億二千六百餘萬圓ノ新規公債ガドウ云フ

計算ノ下ニ消化ヲ見込ムコトガ出來ルカト

云フ御趣旨ノ御尋ノヤウデゴザイマス、是

於テ十年度ノ新規公債ガ消化シ得ルモノデ
ハナイカト云フ結論ヲ得タ次第ゴザイマ
ス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 九年度ニモ

只今野村君ノ御話ノヤウニ、大分餘ッタモノ
ガアルヤウデスガ、是ハ合セタ所デ差支ナ
イ、斯ウ云フ御見込デスネ

○政府委員(青木一男君) 九年度ノ發行豫

定額ガ相當多額ニ上ッテ居ルコトハ先程モ
申上ゲマシタ通りデゴザイマス、サウシテ
其分ガ九年度中ニ全部消化サレルト云フコ
トハ、是ハ出來ナイコトカト思ヒマス、從ッ
テ十年度ニ持越サレテ賣ルヨリ外ハナイコ
トト考ヘマスガ、其代リ十年度ノ發行豫定
額トシテ掲ゲテアル分ニ付キマシテモ、是
ハ必シモ十年度内ニ全部賣ッテシマフト云
フ意味デ申上ゲタノデナク、若干翌年度ヘ
繰越シテ日本銀行ガ賣ルコトヲ豫期シテ居
ル次第アリマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) ドナタカ御

質問ゴザイマセヌカ

○子爵大岡忠綱君 御配付ニナリマシタ此
表ノ中ニ、各種銀行ノ預金貸出、所有公債
ノ調べ書ガゴザイマスケレドモ、此表ニ依
リマス、既ニ貯蓄銀行ニ於キマシテハ、
此中ノ所有公債ハ、預金ニ對シマシテ既ニ

五割ニ上ッテ居リマス、尤モ是ニハ但書ガゴ
ザイマシテ、其銀行ノ所有公債ノ中ニハ大藏
證券及ビ米穀證券ヲ含ムト云フコトガゴザ
イマスケレドモ、何レニセヨ、五割近クノ

手持公債ガアルト云フコトハ想像サレルノ
デゴザイマスガ、是ハモウ相當此貯蓄銀行
ニ限ラズ、其他ノ銀行ノ經營上非常ニモウ

手一杯ノ持高ニ達シツツアルヤニ思ハレル
ノデアリマスケレドモ、之ニ對シテ何カ公
債ノ民衆化ト云フヤウナ意味デ、愛國公債

トカ云フヤウナ、適當ノ名稱ノ公債デモ發
行シテ、少シ大衆ニ公債ヲ持タスト云フヤ
ウナ適當ノ方策ヲ講ズルコトハ出來ナイモ

ノデゴザイマセウカ、尤モ之ニ關聯シマシ
テハ郵便貯金等モ既ニ非常ナ巨額ニ上ッテ
居リマシテ、又預金部ノ方ノ資金ノ關係モ

アルコトデハアリマスケレドモ、何カ適當
ナ方法デ公債ヲ少シ民間……民間ト申シテ

ハ語弊ガアリマスケレドモ、何カ民衆ニ持
タスト云フヤウナ方法ニ付テ適當ナ御考ハ

ゴザイマセヌカ

○政府委員(青木一男君) 今日銀行ノ公債

ヲ所有シテ居ル高ガ、預金其他ノ數字ニ比
較シテ、相當大キナ率ニナリツツアルト云
フコトハ御話ノ通りデゴザイマス、殊ニ貯
蓄銀行ガ此公債所有割合が大キイト云フノ

ハ、是ハマア貯蓄銀行ノ本質デアアル點モゴ
ザイマシテ、貯蓄銀行ハ成ル可ク確實ナル
運用ヲサセルト云フコトガ、法律上ノ制度

デモゴザイマス、サウ云フ意味ニ於キマシ
テ寧ロ株式トカ、社債トカニ投資スルノハ、
政府ノ認可ヲ得ナケレバナラスト云フヤウ

ナ制限モゴザイマスルノデ、是ハ公債ノ率
ガ相當多額ニナルト云フコトハ、自然ノ勢
デアルヤウニ考ヘマス、唯一般論トシテ、

銀行ガ段々公債ヲ多ク買ッテ來テ、資金ノ運
用ガ偏スルト云フ傾向ニナルコトハ、一ツ
ノ問題ト考ヘマス、ソレデソレヲ統制スル

爲ニ、公債ノ民衆化ヲ圖テハドウカ、ト云
フ只今ノ御尋ハ誠ニ御尤ノ點デゴザイマス、
實ハ我國ニ於キマシテハ、一般民衆ニ於キ

マシテ公債ヲ有ツト云フ風習ガ大變後レテ
居ルノデゴザイマス、歐米ノ先進國等カラ
見マシテ……其點ガ特ニ我國ニ於テ一ツノ

缺陷デアルト私共考ヘテ居リマス、ソレガ
今日ノヤウニ公債政策ト云フコトガ、非常

ニ難シクナッテ來ル場合ニ於キマシテ、實ハ
痛感シテ居ル次第デゴザイマスガ、何分ニ

モ是ハ國民ノ投資ニ關スル慣習ト云フヤウ
ナコトガ一番大キナ原因デアリマスル爲ニ、
一舉ニシテ之ヲ變ヘテ、サウシテ民衆ガ、
預金スル代リニ公債ヲ有ツト云フ風ニ改メ

テ行クト云フコトハ、ナカ／＼困難デアリ
マス、曾テ小額債券ヲ郵便局等デ賣リ出ス
ト云フヤウナコトニ依ッテ、サウ云フコトヲ

強制シテ行カウト云フ、段々民衆化ノ實ヲ
舉ゲテ行カウト云フコトヲ試ミタコトガア
リマス、ナカ／＼成績ガ舉ラナイノデゴザ

イマス、ソレデ今日ノ如ク公債消化ト云フ
コトガ大問題デアル場合ニハ、勿論サウ云
フ點モ考慮イタシテ居ルノデアリマスル

ガ、大キナ期待ハナカ／＼出來ナイモノデゴ
ザイマシテ、今後ニ於キマシテハ、段々ニサ
ウ云フ方面ヘ意ヲ注イデ行クト云フコトハ

考ヘテ居リマスルガ、過去ノ經驗カラ致シ
マシテ、俄ニ大キナ期待ハ出來ヌ、漸進的
ニ幾分ヅヅデモ效果ヲ舉ゲテ行クト考

ヘルヨリ外ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居
リマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 御尋ハゴザ

イマセヌカ、……ソレデハチヨット一ツ私カ

ラ伺ヒタイデスガ、持越シ公債ガ四億モア

ルト云フコトデアリマスガ、是ハ市場ニ消
化スルダケノ能力ガナイ、斯ウ云フコトデ
持越サレテ仕舞ッタノデスカ、ソレトモ是ダ
ケ國庫金ノ支拂ノ必要ガ無カッタカラ、コン
ナニ未募集公債ガ出來タノデスカ、是ハド
ウ云フ譯デスカ

○政府委員(青木一男君) 只今ノ御尋ノ點

ハ兩方トモ其原因ヲナシテ居ルト、斯ウ云フ風ニ見テ宜シイダラウト思ッテ居リマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) サウスルト國庫ノ支拂金ニハ、其爲ニ無論支障ハ來サナイノデアリマス

○政府委員(青木一男君) 現ニ國庫金ハ二億内外ノモノヲ持ッテ居リマスル狀況デゴザイマスカラ、今迄モ勿論差支ナク國庫金ノ支拂ハ實行イタシテ居ル次第デアリマス

○委員長(子爵大河内輝耕君) 別ニ御尋ゴザイマセヌカ、ソレデハ次ノ委員會ハ明後日本會議終了後ニ開キマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後三時二十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵大河内輝耕君

副委員長 男爵高崎 弓彦君

委員

子爵大岡 忠綱君

男爵山根 健男君

西野 元君

三橋 彌君

山本 米三君

野村 徳七君

政府委員

大藏政務次官 男爵矢吹 省三君

大藏省理財局長 青木 一男君

大藏書記官 大矢半次郎君

昭和十年三月十三日印刷

昭和十年三月十四日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局